

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽(クリーン)

クリーン(環境・エネルギー・次世代自動車)

戦略産業	キーワード	提案県	強み(地域資源とポテンシャル)	課題	今後の取り組み
次世代自動車					
FCV	FCV市場の確立 ／水素供給インフラ整備	福岡県、佐賀県、北九州市、福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ◎大手自動車メーカーの生産拠点及び部品メーカーの集積 ◎年間154万台の生産能力 ◎北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議の取り組み ◎「水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)」(アジアで唯一の水素関連製品の公的試験機関) ◎日本最大の産学官連携組織「福岡水素エネルギー戦略会議」 	<ul style="list-style-type: none"> ◎燃料電池自動車(FCV)の普及 ◎水素ステーションの整備 ◎コスト面の競争力強化 ◎研究開発力の強化 ◎新たな自動車社会の実証促進 ◎自動車人材の集積・交流促進 ◎設備投資の促進、県内中小企業への波及 	<ul style="list-style-type: none"> ◎製造法改善等による製造コストの低減 ◎2015年のFCV市場投入、水素ステーションの先行整備及び関係する高圧ガス保安法等関連法制の規制見直し促進 ◎生産技術の高度化や高付加価値化の促進 ◎電子・電装系企業の戦略的誘致 ◎ITS関連技術の創出・実証促進 ◎開発～生産までの幅広い自動車人材の育成 ◎下水処理場の汚泥から生成されるメタンガスから水素を製造するシステムを構築。
環境対応車	環境性能に優れた技術による差別化・付加価値化	福岡県、北九州市			
EV・PHV	EV・PHV用充電器	熊本県	◎電機自動車用充電器の設置	◎設置コストが高額で整備が不十分	◎設置費の低廉化
エネルギー					
水素エネルギー関連産業	水素関連市場の拡大・多様化	福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ◎九州大学は、国の「21世紀CEOプログラム」において、全国で唯一、水素利用技術の研究開発に取り組んでいる世界最先端の研究開発拠点 ◎豊富な実証フィールド(九州大学伊都キャンパス、北九州市東田地区、響灘地区) 	◎次世代燃料電池の実用化による高効率発電設備の開発	◎トリプルコンバインド発電システムの実用化に向けた産学協同による研究開発

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽(クリーン)

クリーン(環境・エネルギー・次世代自動車)

戦略産業	キーワード	提案県	強み(地域資源とポテンシャル)	課題	今後の取り組み
水素等環境関連産業	水素需給構造の構築／水素供給インフラ整備	山口県・佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ◎水素生成工場の操業 ◎水素研究拠点の存在 ◎省エネ技術を有する企業が集積 	<ul style="list-style-type: none"> ◎水素を活用した産業の振興 ◎県内企業の研究開発・事業化の推進 ◎県内ものづくり企業の参入促進 ◎各種規制の見直し ◎環境整備、低コスト化に向けた技術開発等 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「液化水素ステーション」の誘致 ◎水素利活用による地域づくり促進 ◎研究開発・事業化の支援(県補助金創設等) ◎再生可能エネルギーの導入促進
再生可能エネルギー産業	風力発電	福岡県・長崎県・大分県・宮崎県・鹿児島県、北九州市	<ul style="list-style-type: none"> ◎日本海側初の沖合における着床式洋上風力発電の実証研究(全国2例目・北九州市沖) ◎世界トップクラスの実績を有する企業が地熱事業を展開 ◎九州大学のポテンシャル(わが国随一の地熱研究室、従来比2～3倍の発電量を実現する風車の研究) ◎地域資源・潜在資源が豊富(太陽光・地熱・木質バイオマス・海洋) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎チャレンジできる実証フィールドの提供 ◎スタートできる立地・起業環境の整備 ◎各種規制の見直し ◎環境整備、低コスト化 ◎木質バイオマスの安定供給 ◎地場企業の参入 	<ul style="list-style-type: none"> ◎日本発の小型風力発電試験場や日本製・海外製の大型風力発電実証のための規制見直しの促進 ◎遊休地(施設)を活用した立地・起業の促進のための規制見直しの促進 ◎規制緩和や系統連携対策など導入促進に向けた環境整備 ◎低コスト化に向けた技術開発 ◎地域を活かした取組への支援強化 ◎事業者、森林組合等による協力体制の確立 ◎地元企業参入方策の検討
	太陽光発電				
	地熱発電				
	木質バイオマス発電				
エネルギー産業		北九州市	<ul style="list-style-type: none"> ◎エネルギー基地、関連実証 	<ul style="list-style-type: none"> ◎発電所建設までに多額の費用・時間を要する 	<ul style="list-style-type: none"> ◎環境アセスに資する事業性調査の事前実施
環境・エネルギー		沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ◎海洋エネルギー等の地域資源が豊富に存在 	<ul style="list-style-type: none"> ◎研究開発機能の高度化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎島嶼地域に適合した太陽光発電システム、海洋エネルギー利用システムの開発
省エネルギー関連機器産業	省エネ市場	熊本市	<ul style="list-style-type: none"> ◎地元企業の参入の動き 	<ul style="list-style-type: none"> ◎研究開発資金、即戦力人材の確保 	

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽(クリーン)

クリーン(環境・エネルギー・次世代自動車)

戦略産業	キーワード	提案県	強み(地域資源とポテンシャル)	課題	今後の取り組み
環境・その他					
機能性材料産業	イノベーション関連産業	熊本県	◎有機エレクトロニクス・マグネシウム技術	◎地場企業の参入促進、事業拡大	◎産学行政連携による事業化推進 ◎地場企業の参入促進、加工技術の修得支援
次世代有機EL関連産業	希少金属フリー第3世代有機EL	福岡県	◎次世代の有機EL素材は希少金属フリーで低コスト、九大が基本特許保有 ◎九大最先端有機光エレクトロニクスセンター(OPERA) ◎「有機光エレクトロニクス実用化開発センター」(平成25年4月開設)	◎第3世代有機EL素材の早期実用化 ◎有機ELにしかできない製品開発	◎実用化研究開発等の促進 ◎有機ELの特徴を活かした用途開発の推進
産業用ロボット産業	産業用ロボット	福岡県、北九州市	◎世界トップシェアを誇るロボット企業をはじめとする関連企業の集積	◎産業用ロボットの用途拡大 ◎中小企業向け産業用ロボット導入支援	◎安全基準の規制の見直しの促進 ◎ロボットオペレータ等の人材育成
民生用ロボット産業	医療・介護分野等民生用ロボット	北九州市	関連企業・大学の集積	◎医療・介護分野等民生用ロボットへの展開促進 ◎ロボットの用途・導入拡大	
軽量Ruby利活用IT産業	組み込みソフト	福岡県	◎、福岡発のプログラミング言語である軽量Rubyは、組み込みソフトの開発において強い優位性を持つ ◎「NPO法人軽量Rubyフォーラム」の活動	◎「軽量Ruby」の普及と実用化	◎「NPO法人軽量Rubyフォーラム」を中核とした「軽量Ruby」の普及と実用化の推進
バイオ関連産業	バイオマス原料活用	鹿児島県	◎豊富なバイオマス原料を活用した商品開発や発電等の優位性	◎産官共同研究で開発した製品の市場開拓	◎企業参入支援
次世代資源循環産業	廃棄物処理/リサイクル	北九州市	◎関連企業・大学の集積	◎廃棄物資源の広域集荷	◎規制の見直し
水銀代替製品製造、水銀廃棄物処理産業		熊本県	◎水銀代替製品が加速、水銀廃棄物所のニーズが発生	◎製造支援、廃棄物として保管・処分する仕組み	

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽(医療・ヘルスケア)

医療・ヘルスケア

戦略産業	キーワード	提案県	強み(地域資源とポテンシャル)	課題	今後の取り組み
医療関連産業育成・集積					
創薬関連産業	がんペプチドワクチン	福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ◎久留米大学発の技術シーズ「がんペプチドワクチン」の開発基盤 ◎隣接の鳥栖市に「九州国際重粒子線がん治療センター」(ペプチドワクチンとの併用に期待) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎創薬の研究開発は長期にわたるため、ベンチャー企業のシーズを活かし切れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎創薬の優れたシーズにおける長期の研究開発支援
医療関連機器産業		山口県	<ul style="list-style-type: none"> ◎原薬製造出荷額では全国有数 ◎大型医療機器関連企業の立地 	<ul style="list-style-type: none"> ◎研究開発における産学公・企業間連携 ◎県内ものづくり企業の参入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「やまぐち医療関連成長産業推進協議会」の設置 ◎研究開発・事業化の支援(県補助金創設等)
医療・福祉機器関連産業		福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ◎医療・福祉機器開発に必要な要素技術を持った企業の集積 ◎「九州大学先端医療イノベーションセンター」(大学と企業との共同研究を中心とした、医工連携・産学連携の拠点) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎医療現場ニーズが企業に伝わらない ◎新製品の実証の場がない。 ◎薬事法の承認・許可のノウハウ不足 ◎臨床試験に対する知識、試験実施機関に関する情報不足 ◎身近な相談窓口がない ◎薬事の許可取得に必要な要件を満たした責任者の確保が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ◎病院・福祉施設と大学・企業等の連携による効率的な医療福祉機器開発体制の構築 ◎薬事に関する情報、知識の提供 ◎承認までのロードマップ相談窓口を身近に設置 ◎医療機器製造販売業及び製造業の許可に係る責任者確保への支援
医療関連機器産業		熊本市	<ul style="list-style-type: none"> ◎高度医療機関の集積 ◎地元企業の参入の動き 	<ul style="list-style-type: none"> ◎医療現場のニーズと地場企業のシーズの把握とマッチング ◎研究開発資金の確保 	
医療機器産業	血液・血管関連機器	大分県、宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ◎関連企業の集積 	<ul style="list-style-type: none"> ◎地場企業の参入 ◎人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎病院・福祉施設等とのマッチング ◎関係団体による支援

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽(医療・ヘルスケア)

医療・ヘルスケア

戦略産業	キーワード	提案県	強み(地域資源とポテンシャル)	課題	今後の取り組み
ヘルスケア・介護					
医療・福祉、介護周辺関連産業		熊本県	◎ものづくり企業の集積 ◎介護サービス市場の拡大	◎企業シーズと医療・福祉・介護現場ニーズの連携	◎シーズとニーズのマッチングの創出
健康・生活産業	高齢化社会対応	北九州市	◎高齢化率の高さ、産学医の連携	◎実証機会が少ない	◎医療・福祉現場とものづくり企業のマッチング強化

その他

コスメティック関連産業		佐賀県	◎化粧品関連企業が立地 ◎フランス・コスメティックバレーと協力連携協定を締結 ◎ジャパン・コスメティックセンターの設立	◎国際取引の促進 ◎化粧品関連企業の集積 ◎天然由来原料の探求、技術確立 ◎コスメ人材の育成	◎国家戦略特区への申請 ◎海外企業とのビジネスマッチング ◎アジア市場への展開 ◎コスメ関連企業の誘致 ◎企業の新規参入・育成強化 等
健康・医療産業	機能性食品産業	鹿児島県	◎豊富な農林水産資源を背景とした機能性食品素材	◎産官共同研究で開発した製品の市場開拓	◎企業参入支援
健康・バイオ・IT産業		沖縄県	◎沖縄科学技術大学院大学の開学、沖縄クリニカルシミュレーションセンターの開設等 ◎多様な亜熱帯性生物資源	◎バイオ技術等の高度技術人材の不足 ◎研究開発機能の不足	◎亜熱帯性生物資源等からの有用資源の探索等 ◎医療機器開発の推進等

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽（農林水産業・食品）

農林水産業・食品

戦略産業	キーワード	提案県	強み（地域資源とポテンシャル）	課題	今後の取り組み
農林水産業					
農業・林業・水産業	ブランド化／輸出拡大	山口県	<ul style="list-style-type: none"> ◎多種多様な農林水産資源 ◎台湾への農産物・加工品の輸出 	<ul style="list-style-type: none"> ◎安定した輸出ルートが未確立 ◎輸出相手国の検疫基準の緩和 	<ul style="list-style-type: none"> ◎海外でのやまぐちブランドの情報発信 ◎アジアにおける物産展開催 ◎国と連携した検疫基準緩和の実現
		福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ◎美味しくて品質の高い国内外に誇れる県産農林水産物が豊富 ◎500万人を超える消費人口 ◎福岡空港から、香港、台湾など、東南アジアを中心に短時間での輸送が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ◎農林水産物の競争力を強化し、消費者から強く支持されるブランド化の取組 ◎輸出の促進のため、重点国・品目の明確化などの戦略に基づいた取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎消費者や実需者のニーズを踏まえた魅力ある県独自品種の開発 ◎生産技術の開発・普及、機械施設の整備等を進め、品質向上と生産拡大を早期に実現 ◎新たな視点での認知度向上対策を実施（外食産業や中食産業との連携や観光資源の活用等） ◎輸出拡大を重点化する国（地域）や品目の明確化 ◎新たな輸出国の開拓や、新たな輸出品目の設定 ◎6次化商品の輸出支援や、商社等による新たな取引手段の活用などを通し、需要を開拓 ◎福岡農産物通商株を活用し、九州一体となった農林水産物輸出を誘導

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽（農林水産業・食品）

農林水産業・食品

戦略産業	キーワード	提案県	強み（地域資源とポテンシャル）	課題	今後の取り組み
農業・林業・水産業	ブランド化／輸出拡大	長崎県	<p>【農林業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎びわ、ばれいしょ、いちごなどの主要品目が、全国上位10位以内に位置 ◎木材産出額が減少する中、栽培きこの類の産出額が大幅増 ◎第10回全国和牛能力共進会肉牛の部で「内閣総理大臣賞」受賞 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「生産拡大」「多取・高品質・高単価化」「売れるものづくり」「コスト縮減」などの生産対策 ◎生産対策に欠かせない経営改善計画の達成や経営規模の拡大に必要な農地集積・労力確保の支援などの経営対策 ◎九州各県と連携した輸出の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎作付拡大や生産技術の改善等による増収を目指す「産地計画」を推進 ◎ブランド化や品種転換などの高品質・高単価・多取化による生産力向上 ◎水田裏等を活用した加工・業務用野菜産地の育成 ◎施設の長寿命化などのコスト削減への取組 ◎経営対策として、担い手への農地集積や労力を安定的に確保する地域労力支援システムの構築を進め、経営規模の拡大を支援 ◎「九州農業成長産業化連絡協議会」やJETROが主体となり、各県と連携、オール九州で取組む初めての展示商談会「オール九州農水産グルメ&トレードフェアin香港」を、平成26年2月に開催
			<p>【水産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎海面漁業・養殖業生産額は、全国の7.2%を占め、全国第2位（平成23年） ◎さば類、あじ類、ぶり類、くろまぐろ、たい類、いさき、あなご類、いか類（するめいか・あかいかを除く）、さざえの漁獲量及び養殖フグの生産量は全国第1位。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎資源の維持・回復のための資源管理の推進、藻場の回復や漁場造成 ◎国内外への販路・販売の拡大のための地産地消や魚食普及推進、消費者ニーズにあった商品の開発、新たな輸出国の開拓 ◎新規漁業就業者を増加するための地域ぐるみの支援・指導、受け入れ・育成体制構築 ◎漁村加工や交流人口の増加等による雇用の増大、漁村の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎漁場造成・資源管理・栽培漁業を推進し漁業生産量の維持を図りつつ、養殖魚の質的向上や、水産物の付加価値を高め、販売増大に直結する取組を推進 ◎水産物輸出については、効果的な輸出事業の展開を通じて適正な魚価の形成を促進 ◎販路開拓など民間が得意とする分野は民間企業が主体的に行い、水産物のPRや証明書発行等の輸出手続きに関することを側面から支援など、効率的な輸出促進への取組
農業・林業・水産業	輸出促進	熊本県	◎豊富な農林水産一次品（農業生産額が全国5位）	◎海外への販路拡大、食関連企業等集積の規制緩和	◎関係者が一体となった海外需要に対する供給体制の整備

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽（農林水産業・食品）

農林水産業・食品

戦略産業	キーワード	提案県	強み（地域資源とポテンシャル）	課題	今後の取り組み
農業・林業・水産業	輸出促進	大分県	<ul style="list-style-type: none"> ◎豊富な農林水産一次品 ◎東アジアに隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ◎輸出国、輸出品目の拡大 ◎海外需要に対応した商品づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎周年安定出荷体制構築に向けた商品づくり ◎生産者、加工業者とのマッチング ◎輸出国の開拓、新規品目のマーケティング ◎輸出に取り組む生産者の掘り起こし
農業・林業・水産業	ICTを活用した農業経営管理	宮崎県	携帯端末を利用した経営管理システムの開発やユビキタス型ハウス制御システムの開発	大規模な社会実装によるシステム検証及び改良	
農業・林業・水産業		大分県	<ul style="list-style-type: none"> ◎豊富な農林水産一次品 ◎東アジアに隣接 ◎全国有数の留学生 	<ul style="list-style-type: none"> ◎担い手の確保、耕作放棄地の解消 ◎競争の激化 ◎大ロットに対応できる供給能力 	<ul style="list-style-type: none"> ◎1次産品の供給量確保・マッチング ◎実需オーダーに応えられる食品加工業の育成
農業・林業・水産業		鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ◎アジアへの近接性 ◎農業生産額、木材生産産出額、漁業生産額が全国トップクラス ◎人工林が利用可能資源として充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎担い手不足 ◎農業所得の減少、木材需要の低迷 ◎消費者ニーズに対応した商品づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人材育成、安定供給 ◎高付加価値化、販路拡大
農業・林業・水産業	農林水産品のブランド化	福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ◎豊富なブランド品目（あまおう、博多万能ねぎ、夢つくし、唐泊恵比須かきなど） ◎木材資源が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ◎生産量、品質の向上 ◎販売、流通チャンネルの不足 ◎輸出や国内販促に携わる人材の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新たな生産技術の確立 ◎国内外でのプロモーション活動の実施 ◎輸出セミナー、HACCPセミナーの開催
施設園芸					
施設園芸農業	環境制御技術の導入	佐賀県	◎県の試験研究機関での「統合環境制御技術」研究着手	<ul style="list-style-type: none"> ◎環境制御技術の確立、習得 ◎施設整備に対する多額の初期投資 	<ul style="list-style-type: none"> ◎県の普及組織等による生産者の速やかな技術取得に対する支援 ◎施設整備に対する国の支援策の積極活用

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽（農林水産業・食品）

農林水産業・食品

戦略産業	キーワード	提案県	強み（地域資源とポテンシャル）	課題	今後の取り組み
施設園芸農業	ICT利活用による産地の高度化	熊本市	全国有数の農業産出額	◎ICTを前提とする栽培技術体系の確立 ◎ICT化導入コストの低減	
施設園芸農業	ICTを活用した大規模施設園芸施設制御の開発	宮崎県	携帯端末を利用した経営管理システムの開発やユビキタス型ハウス制御システムの開発	大規模な社会実装によるシステム検証及び改良	
食品産業					
食品製造業		福岡県	◎本県では、食品製造業は輸送用機械に次ぐ総生産 ◎健康食品を取り扱う通販事業者が数多く立地	◎商品寿命が短くなる中、短い開発期間で数多くの新商品を市場投入 ◎政府の食品機能性表示の規制緩和政策を踏まえた対応	◎高付加価値食品の開発に向け、商品企画・試作加工・成分評価等を一貫して支援できる体制の整備 ◎食品の機能性や安全性に関する科学的データの取得支援
食品加工業	農商工連携	佐賀県	◎豊富な農林水産物資源の存在	◎応募件数の増加	◎支援機関や説明会等による制度周知
食品加工業		大分県	◎豊富な農林水産一次品 ◎発酵文化、醸造技術の蓄積 ◎東アジアに隣接	◎ロットの確保、商品開発・販路開拓	◎1次産品の供給量確保・マッチング ◎実需オーダーに応えられる食品加工業の育成
食品関連産業	高付加価値化／市場開拓	鹿児島県	◎豊富な農林水産物 ◎県内製造品出荷額に占める食料・飲料の割合は全国トップクラス	◎県外食品との差別化、競争力の向上	◎高付加価値化、新市場開拓
食品加工業	地域資源活用型産業	沖縄県	豊富な地域資源 アジアとの近接性	◎植物工場等における高度な制御技術等◎販路開拓	◎6次産業化による新たなビジネス創出等

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽（農林水産業・食品）

農林水産業・食品

戦略産業	キーワード	提案県	強み（地域資源とポテンシャル）	課題	今後の取り組み
食品加工業	6次産業化・農商工連携	北九州市	多種多様な産物、大消費地に近い	◎現時点では、大規模な取組みとはなっていない。	鹿児島市、熊本市、福岡市、北九州市の四都市交流連携事業
フードビジネス	加工食品の海外展開	福岡市	◎「フードビジネス協議会」で中小企業の海外販路拡大支援 ◎創造業の大部分を食品加工業が占める ◎博多港、福岡空港が食品輸出の拠点となっている	◎各諸外国の輸入規制 ◎貿易コストによる価格競争力の低さ ◎貿易手続き	◎海外市場セミナー、貿易相談、新作レシピ開発、展示会出展、商談会参加など
食品加工業	ブランド化	熊本市	◎全国有数の農業産出額	◎海外への販路拡大 ◎ブランド力向上	
機能性・健康食品					
機能性・健康食品関連産業		佐賀県	◎食品関連事業所の集積 ◎機能性食品開発拠点の設置	◎競争力のある商品の開発	◎国等の資金の活用支援
機能性・健康食品関連産業		熊本県	機能性・健康食品の素材が豊富	◎製品化促進のためのリソースの確保	◎産・学・行政連携による研究成果の活用 ◎国の支援策の積極活用
機能性・健康食品関連産業	栄養・機能性分析技術	宮崎県	農産物の栄養機能性の解明による新商品の開発（ブルーベリー・葉・日向夏）	分析体制の充実・強化	
県産品					
県産品	食のブランド化	山口県	やまぐちブランドの創設	◎観光資源としての食材の生産拡大 ◎全国的に知名度の高い食材の旅館等への利用拡大	◎やまぐちブランドの育成・登録 ◎知名度の高い食材を観光素材として活用 ◎6次産業化等新商品の開発促進
県産品	輸出拡大	佐賀県	◎ブランド力がある農畜産物や加工食品の存在	◎輸出対象国の拡大 ◎輸出対象国における輸入許可品目の拡大、検疫規制	◎相手国に対し、輸入拡大や規制緩和を働きかけるよう国へ要請

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽（観光）

観光

戦略産業	キーワード	提案県	強み（地域資源とポテンシャル）	課題	今後の取り組み
観光業	おいでませ！宿泊者数500万人戦略	山口県	◎全国に誇れる観光資源	◎魅力の浸透・認知度が不十分 ◎ブランド力不足 ◎外国人宿泊者が低迷 ◎九州地域との連携強化（関門連携）	◎プロモーションの強化と観光資源の充実展開 ◎「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築（薩長土肥連合（仮称）の設立等） ◎世界文化遺産（九州・山口近代化産業遺産群）の認定 ◎下関北九州道路の早期事業化
観光業	新たな観光資源の創出	福岡県	◎NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映（H26.1～） ◎世界遺産登録の政府推薦が決定した明治日本の産業革命遺産の存在	◎新たな観光資源の創出とブランド化	◎観光ルート開発と商品化
観光業	クール・ジャパン	福岡県	◎若者に人気のアパレルショップや商業施設が集積（天神、博多地区） ◎「福岡アジアコレクション（FACo）」が日本三大ガールズコレクションとして定着 ◎福岡やアジアの若者文化情報を7言語で発信する多言語ウェブサイト「アジアンビート」 ◎世界一のサケ（八女市喜多屋の大吟醸が「チャンピオンサケ」受賞）	◎海外での福岡のコンテンツ（ファッション、若者文化、県産酒等）の知名度向上 ◎外国人観光客の受入環境整備	◎海外情報発信の強化 ◎特区ガイドの育成 ◎多言語案内表示等周遊しやすい環境整備 ◎外国人観光客の安全確保対策
観光業	交流人口拡大	鹿児島県	◎多彩で優れた本物の素材 ◎アジアとの近接性	◎交流人口の確保による経済活性化	◎地域資源のさらなる活用 ◎イメージの形成と情報発信力の強化 ◎受入体制整備と国内外からの誘客促進

観光

戦略産業	キーワード	提案県	強み(地域資源とポテンシャル)	課題	今後の取り組み
観光業	地域資源活用型産業	沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ◎豊富な地域資源 ◎アジアとの近接性 	<ul style="list-style-type: none"> ◎アジア各国への直行便の不足 ◎グローバル人材の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ◎国際空港・航路の定期路線の拡充 ◎人材育成 ◎地域資源を活用した魅力的な商品開発支援
観光業	産業観光資源、環境観光資源/MICE事業の推進	北九州市	<ul style="list-style-type: none"> ◎産業観光資源、環境観光資源 ◎MICE事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎他都市との競争による埋没化 ◎国外から見た場合の低い知名度 	<ul style="list-style-type: none"> ◎独自の観光施設の打ち出し強化 ◎九州・沖縄で連携して取り組む
観光・MICE関連産業	アジアのゲートウェイ/「世界No.1のおもてなし都市」の実現	福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ◎入国外国人数 福岡空港 国内第5位 博多港 国内大7位 ◎外国クルーズ客船寄港の増加 ◎国際コンベンション開催件数が国内第2位 ◎九州初の欧州直行便 ◎NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が平成26年放映開始 	<ul style="list-style-type: none"> ◎広域連携の基盤が整っていない ◎ゴールデンルートが確立されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「福岡観光・集客戦略2013」に基づく取り組み ・プロモーション展開 ・MICE振興 ・魅力づくり ・観光の産業化 ◎広域観光ルートの確立による国内外の認知度向上 ◎博多港 ・ウォーターフロントの賑わいづくり ・クルーズ客船誘致
観光業	MICEの推進	熊本市	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光、地下水などのアピール資源 ◎地理的特性 	<ul style="list-style-type: none"> ◎誘致に向けた他都市との連携 	

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽(その他)

その他の産業分野

戦略産業	キーワード	提案県	強み(地域資源とポテンシャル)	課題	今後の取り組み
物流					
国際物流ハブ関連産業	アジアの国際物流拠点	沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ◎アジアの国際物流拠点 ◎臨空・臨港型産業の集積 	<ul style="list-style-type: none"> ◎物流倉庫・流通加工・検査などの施設・機能が不足 ◎グローバル人材の不足 ◎データセンター集積に向けた通信インフラが弱い ◎アジア各国への直行便が不足 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大交易会の開催等に伴うビジネスマッチングの実施 ◎国際物流ネットワーク形成に向けた施設・機能整備 ◎国際空路・航路の定期路線の拡充 ◎首都圏・東南アジア圏に直結した情報通信インフラの整備
国際物流関連産業	アジアのゲートウェイ	福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ◎博多港 ・北米・アジア航路の充実 ・国際海上コンテナ取扱量, 全国6位 ・シームレスかつスピーディな国際物流<グリーンアジア国際戦略総合特区の指定> ◎福岡空港 ・国内外の乗降客数, 貿易額とのに全国4位 ・国内線25路線, 国際線19路線 ・九州初の欧州直行便 		<ul style="list-style-type: none"> ◎博多港 ・アイランドシティコンテナターミナルの機能強化 ・戦略をもったポートセールス ◎福岡空港 ・平行誘導路二重化の推進 ・滑走路増設の早期実現 ・航空ネットワーク機能の強化
窯業					
窯業(有田焼)	有田焼創業400年事業	佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ◎日本の磁器の発祥の地 ◎400年間受け継がれてきた伝統、技術 	<ul style="list-style-type: none"> ◎海外市場をはじめとした新市場開拓、欧州での有田焼のリブランディング(再評価) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎海外市場の開拓 ◎人材集積・育成 ◎国内外への情報発信

【地域産業競争力協議会】成長産業の芽（横断的取り組み）

横断的取り組み

戦略産業	キーワード	提案県	強み（地域資源とポテンシャル）	課題	今後の取り組み
起業・創業					
海外展開等を指向した起業・創業（不特定業種）	スタートアップ	福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ◎スタートアップに適した豊富な人材（若者、学生、女性、留学生など） ◎スタートアップしやすいビジネスコスト（オフィス賃料、コンパクトに集積した都市機能） ◎世界とつながるビジネス環境（充実した国際路線、国際コンベンション開催件数第2位） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大学生や女性など起業予備軍の意識醸成 ◎相談機能の充実や人材・企業のマッチング ◎世界のベンチャー企業とMICEで集まる人材とのマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「グローバル・スタートアップ国家戦略特区」構想 ◎創業のフェーズごとの支援をロールモデルとして確立し、その取組みを全国へ展開する。 ◎MICEに特化したワンストップ体制を構築し、MICE参加者と地域事業者とのネットワークをつなげ、イノベーション・ビジネス機会を創出する。